

法 規 12問 30分

法 規 (1)

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

〔1〕 再免許を受けた固定局の免許の有効期間は、何年と定められているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 無期限
2. 10年
3. 5年
4. 3年

〔2〕 次の記述は、電波法に規定する「無線従事者」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線従事者とは、 であって、総務大臣の免許を受けたものをいう。」

1. 無線設備の操作又はその監督を行う者
2. 無線局に配置された者
3. 無線局を管理する者
4. 無線局を運用する者

〔3〕 免許人(包括免許人を除く。)が不正な手段により周波数の指定の変更を行わせるとき、総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。

1. 免許の取消し
2. 運用の停止
3. 運用許容時間の制限
4. 周波数又は空中線電力の制限

〔4〕 総務大臣から臨時に電波の発射の停止の命令を受けた無線局が、その発射する電波の質を総務省令に適合するように措置したときは、どうするか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その旨を総務大臣に届け出て、電波の発射を開始する。
2. 直ちにその電波を発射する。
3. その旨を総務大臣に申し出る。
4. 他の無線局の通信に混信を与えないように確かめた後、電波を発射する。

〔5〕 固定局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、次のどの箇所に掲げておかなければならないか。

1. 無線局のある事務所の見やすい箇所
2. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
3. 受信装置のある場所の見やすい箇所
4. 通信室内の見やすい箇所

〔6〕 次の記述は、業務書類の備付けに関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 無線局事項書の原本
2. 免許人の氏名又は名称を証する書類
3. 免許証
4. 無線検査簿

法 規 (2)

〔7〕 空中線電力 50 ワットの固定局の無線設備を使用して呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときの呼出しは、次のどれによることができるか。

- | | |
|-----------------|------|
| 1. 自局の呼出符号 | 3回以下 |
| 2. (1) 相手局の呼出符号 | 3回以下 |
| (2) DE | 1回 |
| 3. (1) DE | 1回 |
| (2) 自局の呼出符号 | 3回以下 |
| 4. 相手局の呼出符号 | 3回以下 |

〔8〕 無線電信通信において、相手局に対し通報の反復を求めようとするときは、次のどれによることになっているか。

1. 反復する箇所を繰り返し送信する。
2. 反復する箇所の次に「RPT」を送信する。
3. 「RPT」を送信する。
4. 「RPT」の次に反復する箇所を示す。

〔9〕 非常の場合の無線通信において、無線電信により連絡を設定するための呼出しは、次のどれによって行うことになっているか。

1. 呼出事項の次に「OSO」3回を送信する。
2. 呼出事項の次に「OSO」2回を送信する。
3. 呼出事項に「OSO」3回を前置する。
4. 呼出事項に「OSO」1回を前置する。

〔10〕 無線電信通信において、「ラタ」を使用する場合は、次のどれか。

1. 通報のないことを通知しようとするとき。
2. 周波数の変更を完了したとき。
3. 通報の送信が終わるとき。
4. 通信が終了したとき。

〔11〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 無線通信は、有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
2. 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。
3. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。
4. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。

〔12〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、次のどれによらなければならないか。

1. 直ちにその呼出しを中止する。
2. 中止の要求があるまで呼出しを反復する。
3. 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
4. 混信の度合いが強いときに限り、直ちにその呼出しを中止する。